平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE：2016.7.5

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア言語文化研究部門 I
氏名　Name	酒井裕美
専門分野 Academic Field	史学　アジア史

平成 28 年度　研究計画（ホームページで公開）　Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	開港期朝鮮の対日外交政策

第一に、昨年度に行った「朝清商民水陸貿易章程」における漁業規定の分析をふまえ、今年度は日本との間で 1883 年に締結された「日朝通商章程」における漁業条款と、これと合わせて定められた「日本漁民取扱規則」の交渉過程について分析を行う。

第二に、日朝間の漁業問題については、1889 年に締結される「日本朝鮮両国通漁規則」が重要であるが、その前提として、1883 年に始まった漁業規定に基づく体制が実態としてどのように推移していたのかを把握する必要がある。すなわち、「日朝通商章程」と「日本漁民取扱規則」の運用実態を明らかにするということである。その点では、この間に継続して問題となっていた済州島通漁をめぐる外交交渉が重要であるが、この問題についての研究は近年活発であるとはいえない状況である。本年度は、済州島における現地調査を行ったうえで、朝鮮側の外交機関である統理交渉通商事務衙門に往来した外交史料の分析を中心に、この問題について再検討する計画である。

共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research　*1	史学一般	日本史	アジア史・アフリカ史	政治学	国際関係論
キーワード Keywords*2	朝鮮外交	漁業史	日本朝鮮両国通漁規則	日朝通商章程	日本漁民取扱規則